

岩手県金融経済概況（平成 27 年 2 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費が、総じて底堅く推移しているほか、建設投資（公共投資、設備投資、住宅投資）は、高水準を維持している。生産は、持ち直しに転じている。こうした中、雇用・所得環境は、改善している。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、駆け込み需要の反動が和らいでおり、総じて底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 27 年 2 月）は、身回品、家庭用品が不冴え裡に推移したこともあって、僅かながら前年割れとなった（前年比△0.7%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 27 年 1 月）は、増加している（前年比+3.2%）。

新車登録・届出台数（平成 27 年 2 月）は、2 ヶ月連続で前年割れとなった（登録車+軽 前年比△25.5%）。

(2) 建設投資（公共投資、設備投資、住宅投資）

公共工事請負金額（平成 27 年 2 月）は、高水準ながら、前年を下回った（前年比△33.6%）。

民間設備投資（短観ベース；平成 26 年度計画）は、製造業、非製造業ともに、新製品対応投資、省力化投資などに前向き先が多くみられていることから、前年を上回る計画となっている。

新設住宅着工戸数（平成 27 年 1 月）は、持家が 10 ヶ月連続で減少したことを主因に 3 ヶ月連続で前年割れとなった（前年比△2.1%）。もっとも、前年比マイナス幅は、貸家、分譲が増加したことから、大幅に縮小した。

こうした状況下、建設総合統計（岩手県出来高ベース；平成 27 年 1 月）は、平成 24 年 2 月以降 36 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+41.5%）。

3. 生産動向

鉱工業生産指数（季節調整値；平成 27 年 1 月）は、持ち直しに転じている（前月比（p）+4.0%；5 ヶ月連続の前月比プラス）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；平成 27 年 1 月）は 1.13 倍となり、平成 25 年 5 月以降 21 ヶ月連続で 1.00 倍以上を維持している。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査）は、平成 24 年 3 月以降 35 ヶ月連続で前年を上回っている（平成 27 年 1 月：前年比+0.6%）。

名目賃金指数（平成 26 年 12 月）は、「特別に支払われた給与」が大幅に増加したこともあって、前年対比 2 桁のプラスとなった（前年比+11.2%）。

雇用者所得（県内合計値；平成 26 年 12 月）も、前年を大幅に上回った（前年比+11.8%）。

5. 企業倒産

企業倒産（平成 27 年 2 月）は、3 件、0.7 億円となり、金額ベースで前年を下回った。

6. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金、貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>